

消防通信



No. 12

～浜通り、元通り！頑張ろう双葉～

発行日：平成26年7月

発行元：双葉消防本部 総務課

所在地：楡葉町山田岡字仲丸1-110

電話：0240-25-8523（代表）



ごあいさつ

双葉地方広域市町村圏組合消防本部
消防長事務取扱 馬場 有

この度、平成26年4月1日付をもちまして、双葉地方広域市町村圏組合消防本部消防長事務取扱の職に就任いたしましたので、ごあいさつ申し上げます。

当双葉地方に未曾有の被害をもたらした、東日本大震災及び東京電力(株)福島第一原子力発電所事故から、3年の歳月が経過いたしました。この震災により犠牲となられた多くの方々、そしてご家族の皆様方に対し、心より哀悼の意を捧げますとともに、未曾有の大惨事の渦中におかれ、全国各地で長期間の避難生活を余儀なくされている、住民の皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

さて、当双葉消防本部はこれまで、富岡消防署の機能を楡葉分署に移設し、また、浪江消防署機能を川内出張所に移設しておりましたが、火災・救急等に対する初期対応を早めることや、北双方部の災害対応強化を図るため、本年4月1日から浪江町役場の一角に浪江消防署臨時庁舎を開所いたしました。このことにより、避難指示区域内の一時帰宅者やインフラ復旧等のため入域されている方々の救護対応及び火災の早期発見・消火体制が強化されるものと考えております。

今後も、管内の情勢に合わせ、適時適正に消防体制の再構築を図りながら、住民帰還に直結する安全の確保を確実にして、ふるさとの復興再生と、住民の皆様様の幸福度向上に資することができるよう、全署所・全消防力を結集して対応する決意でありますので、今後ともご理解のほど宜しくお願いいたします。

浪江消防署臨時庁舎開所

平成26年4月1日より浪江町（サンシャイン浪江内）において24時間体制での業務を開始しました。



浪江消防署臨時庁舎開署式の様子

帰還困難区域を想定した大規模火災対応訓練

平成26年5月15日（木）、浪江町内において大規模火災対応を想定した訓練を実施致しました。

本訓練には福島県広域相互応援協定に基づき、県内12消防本部及び関係機関6機関、人員140名が参加し、災害発生時の連携強化を図りました。



応援隊による放水訓練の様子

～熱中症対策～

人間の体は、半分以上が水分で占められています。体内の水分を10%失うと脱水によるさまざまな症状が現れ、15%の水分がなくなると生命が危険な状態になります。なかでも見逃しがちな、「かくれ脱水」に気を付けましょう。



4つのサイン

- ・「べた」首筋などがべたべたしてくること
- ・「だる」元気がなく見える、からだのだるい、判断力・集中力の低下
- ・「ふら」めまい、立ちくらみがある
- ・「いた」こむらがりなど筋肉のけいれん・頭痛



「予防」が大切！！

- ・こまめに水分を補給しましょう
- ・襟元をゆるめて通気をよくしましょう
- ・暑い日、暑い時間帯は外出を控えましょう
- ・外出の際は、帽子をかぶる、日傘をさす、日陰を選ぶなど直射日光を避けましょう
- ・室内では、換気を十分にいき、すだれやカーテンで日差しを防ぎましょう
- ・十分な睡眠や食事をとり、規則正しい生活を心がけましょう

夏の催し物～火の取扱について



これからの季節は、外でバーベキューや花火をする機会が増えますので、火の取扱いには注意しましょう。

注意点

- ❑ 火を使う時は目を離さない
- ❑ 広い場所で実施する
- ❑ 水をかけて、火が消えたことを確認
- ❑ 消火したと思っても、再び燃える可能性があるので、すぐに捨てない。



注意点を守り

楽しい思い出を作りましょう！

火の用心



新任職員紹介

平成25年10月並びに平成26年4月に採用され、各配属先で勤務している職員を紹介します



猪狩 奨 (21歳)
檜葉町出身
消防本部通信指令係

住民の方の安全・財産を全力で守ります



坂本大成 (19歳)
檜葉町出身
富岡消防署警防係

双葉郡の安全を守れるように日々訓練に励みます



玉根俊介 (20歳)
双葉町出身
消防本部通信指令係

通信業務・消防訓練に励んでいます



手塚正人 (30歳)
栃木県宇都宮市出身
檜葉分署警防係

双葉郡の安全安心のため全力を注ぎます



谷山 徹 (27歳)
埼玉県加須市出身
富岡消防署警防係

一人でも多くの方々の安全と安心を守ります



渡辺啓太郎 (27歳)
宮城県仙台市出身
富岡消防署警防係

双葉を支える1つの柱になれるよう頑張ります



青沼将之 (24歳)
静岡県沼津市出身
檜葉分署警防係

双葉郡の復興に貢献できるよう日々精進して参ります